

椎茸普及指導情報 第3号

これまでの状況（8～10月）と今後の予定（11月～）をお知らせします。

1 中核生産者の育成・確保

・経営実態調査

引き続き皆様のご協力をいただき調査をさせていただいています。

皆様の期待は単価向上に対する声が大きいです。そのためは、良品づくりはもちろんですが、特に若年層向けの消費拡大と中国産商品との差別化だと思われます。（参考H16乾しいたけ1世帯あたり購入数量99g 10年前の約半分）

・ほだ化の活着調査。

8月から10月にかけて町連合会等主催の入木コンクール（66カ所）等が実施されました。本年度植菌分は活着初期の十分な降雨があったため概ね順調のようです。

・害菌害虫調査

10月末にOSK支部、種菌メーカーの協力により管内18カ所を調査させていただきました。見た限りでは概ね良好です。

・人工ホダ場省力化栽培の実証調査

省力化実証試験中です。

・原木供給

OSK国東支部管内の需給調整会議を開催しました。本年度においては建設業者の原木供給が実施されることになりました。

2 新規担い手の育成確保

・10月18日に日出町で、初めての方のしいたけほだ起こし体験教室を実施しました。参加人数40人。参加者の方には新たな担い手として、また1消費者として大分しいたけの美味しさ、効能、ストーリー（自然の中で作られる）を皆さんに伝えていただければ幸いです。

・新規参入者、建設業者、退職者等を中心にサポート指導をしています。生産者の皆様のご協力もお願いします。また、建設業者から新規参入の声もあがっています。

3 流通改善と消費拡大

・毎月一括表示の適正指導を実施しています。

・10月31日に別府大学短期大学部食物栄養科1年生23名に対し、料理教室を実施しました。同大学立松先生のご指導により「しいたけづくし松花堂弁当」（写真）ができあがりました。学生の皆さんが、今後、栄養士として活躍される場において、大分しいたけをどんどん使ってくれることを期待しています。

・中国産乾しいたけは国産（大分県産）に比べかなり安く取引されています。消費者が大分産しいたけを買ってくれるのは、大分産に対する品質（品評会）や安全性（無農薬）だと思います。消費拡大のためには、これらの取組を強化するとともに中国産はほとんど菌床ですので、原木栽培のストーリーを多くの人に認識してもらうことが大切だと思います。

しいたけづくし松花堂弁当



ほとんどの椎茸入り・美味

【ブランド力強化のためにも品評会の準備もよろしくをお願いします。】

～トピックス～

文化の日の表彰で国東市国東町の鹿島戦一さんが椎茸栽培部門で大分県知事賞を受賞されました。おめでとうございます。

－椎茸のことなら何でもご相談ください ご相談窓口－

大分県東部振興局生産流通部

野菜・椎茸班 担当 栗林（国東市エリア）

河野（別府市・杵築市・日出町エリア）

0978-72-1141 FAX0978-72-1242